



作業の開始にあたって

このマニュアルでは、Cisco Unified Presence サーバの IP アドレス、ホスト名、ドメイン名、またはノード名を変更する手順を説明します。この IP アドレス、ホスト名、ドメイン名、またはノード名の変更が必要になる理由として、サーバを別のクラスタに移動する場合や IP アドレスが重複している問題を解決する場合など、さまざまな状況が考えられます。



注意

これらの手順は、スケジュールしたメンテナンス時間内に実行する必要があります。

サーバの IP アドレス

サーバの IP アドレスは、Cisco Unified Presence サーバに関連付けられたネットワーク レベルのインターネット プロトコル (IP) です。

サーバのホスト名

サーバのホスト名は、ネットワーク レベルのホスト名です。



(注)

サーバのホスト名は、ノード名とは異なります (ただし、同じ値の場合もあります)。サーバのノード名については、この章の後半で詳しく定義します。

サーバのドメイン名

サーバのドメイン名は、Cisco Unified Presence サーバに関連付けられたネットワーク レベルの DNS ドメインです。これとホスト名と組み合わせることで、サーバの完全修飾ドメイン名 (FQDN) となります。たとえば、ホスト名が「cup-server」、ドメイン名が「example.com」のサーバの FQDN は、「cup-server.example.com」となります。



(注)

ネットワークレベルの DNS ドメインと、Cisco Unified Presence 管理 GUI の [クラスタトポロジ (Cluster Topology)] ウィンドウで設定する、Cisco Unified Presence アプリケーションによって使用される全社的なドメインとを混同しないでください。

ネットワークレベルの DNS ドメインと全社的なドメインの、次のような違いに注意してください。

- ネットワークレベルの DNS ドメインは、サーバのネットワーク ID としてのみ使用されます。
- [クラスタトポロジ (Cluster Topology)] ウィンドウの全社的な Cisco Unified Presence ドメインは、エンドユーザ IM アドレスで 사용되는アプリケーションレベルのドメインです。
- Cisco Unified Presence Release 8.6(5) から、この別々の設定を一致させる必要はなくなりました。

全社的な Cisco Unified Presence ドメインおよびサポートされている導入タイプの詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

サーバノード名

サーバノード名は、Cisco Unified Presence 管理 GUI の [クラスタトポロジ (Cluster Topology)] ウィンドウで設定されるノード名です。このノード名は、その他すべての Cisco Unified Presence サーバおよびすべてのクライアント マシンからのサーバにすべてのクライアント マシンから解決可能である必要があります。したがって、推奨されるノード名の値は、サーバのネットワーク FQDN ネットワークです。ただし、IP アドレスとホスト名のどちらも、特定の導入ではノード名の値としてサポートされています。ノード名の推奨事項およびサポートされている導入タイプの詳細については、『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』を参照してください。

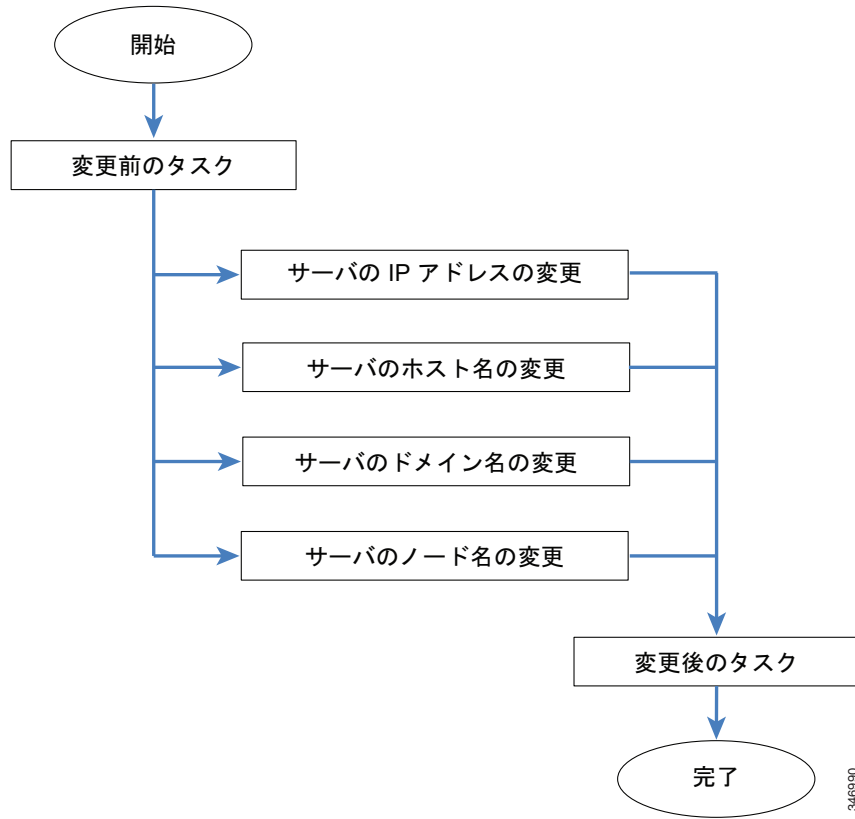
手順のワークフロー

このマニュアルでは、次の作業の詳細な手順を提供します。

- サーバの IP アドレスの変更
- サーバのホスト名の変更
- DNS ドメイン名の変更
- サーバのノード名の変更

これらの手順それぞれについて、変更を行う前に変更前のタスクを実行し、変更を加えた後に変更後のタスクを実行する必要があります。

図 2-1 手順のワークフロー



3468900

